



ハイデルベルク城

ロマンチズムそのもの：
世界で最も有名な城址



参加し。感動し。楽しむ



バーデン=ヴュルテンベルク
州立宮殿および庭園



季節がいつであろうと、城の中庭は訪問する価値があります。

ロマン派の憧れの地

絵画のように美しい風景に溶け込むハイデルベルク城は、四季を通して情緒豊かな趣を演出します。テラスから見下ろすネッカー川とハイデルベルクの街並みは絶景です。

ヨーロッパ史において重要な役割を果たしたかつての居城は、力強い姿に今もその威厳を留めています。繰り返される戦いやはない栄華の象徴として、19世紀のドイツロマン派がモチーフとして好んだのも納得がいきます。城と要塞という2つの機能が融合しているのもこの城の特徴です。巨大な塔や、アーチ型の屋根を持つ城壁内部の秘密の回廊が、要塞としての堅固な防衛能力を物語る一方、中庭を取り囲んでいるのは、代表的な宮殿建築のファサードです。宮殿建築は比類のない彫像で飾られており、ルネサンスの宝です。

壮麗な彫像で飾られたオットハインリヒ館 (*Ottheinrichsbau*) は、アルプスの北における最初期のきわめて重要なルネサンス建築に数えられています。フリードリヒ館のファサードは、歴代普法ルツ選帝侯の肖像画の並ぶ廊下によって、またしても観光客の目を引きつけ、他方、その内部には歴史的な内装が隠されています。14世紀にライン宮中伯が選帝侯となったのを機に、建築的な変更が数多く実施されました。

当時、世界に名を知られたルネサンス式庭園 ホルトウス・パラティヌス (*Hortus Palatinus*、ラテン語で「普法ルツの庭」を意味します) の荘厳なテラスは、有名な大樽やドイツ薬事博物館とともに一見の価値があります。

ハイデルベルク城 (Schloss Heidelberg) の印象的な遺跡には、毎年世界中から約100万人の観光客が訪れます。19世紀初頭以来、ロマン主義の代名詞ともなっています。

ここより印象深い場所はどこにもないといつていいでしょう。ネッカー渓谷の砂岩からなるその姿は赤みを帯び、緑深いケーニヒシュトゥールの北壁を背にそびえ立ちます。このシルエットこそ、ハイデルベルク旧市街のイメージを形作っています。

輝かしく変化に飛んだハイデルベルク城の歴史は、後にプファルツ選帝侯となるライン宮中伯がここに居を構えた時に始まります。歴史上、初めてこの城が言及されたのが、1225年です。それからまもなく、ルネサンス期の最も代表的な居城の一つとして、増設されることになります。

ルネサンスの壮大な建築

30年戦争まで、ハイデルベルク城には帝国内でも重要な宮廷が存在していました。選帝侯が積極的に建築に取り組んでからは、堅固さと時代を代表する様式を併せ持つアンサンブルが完成しました。ガ



19世紀には豪華な装飾が加えられた。漆喰の天井や木と砂岩からなる門が印象的なフリードリヒ館。

ラスの広間棟、オットハインリヒ館 (Ottheinrichsbau)、フリードリヒ館 (Friedrichsbau)、そしてイギリス館。これらはすべて、ルネサンス期に作られた、壮大な建築芸術です。見事なファサードを誇るこれらの建物に囲まれた中庭は、威厳ある、格調高い雰囲気に包まれています。

戦争と自然災害による破壊

17世紀末、この城は、プファルツ継承戦争でフランス軍に何度も攻撃を受け、破壊されることになります。「ハイデルベルク城のライトアップ」は、今日、当時の破壊の様子を年に何度も盛大な花火で演出しています。この城は、長い間、最低限の修復しか行えないままになっていましたが、1764年に自然災害によって激しい損傷を受けました。二度立て続けに稲妻が城を直撃したのです。かつての壮麗な宮殿はほとんど完全に燃え尽きてしまい、——そして、廃墟となったのでした。

ドイツルネサンスの珠玉：オットハインリヒ館



フリードリヒ館から誇り高く見つめるプファルツ選帝侯の先人たち



観光案内



多くの彫像が宮殿を飾る。写真はプファルツ選帝侯フリードリヒ5世の立像。

城と庭園—神話とロマンチズム

城の廃墟は、19世紀にロマン主義の情緒の象徴となり、さらに歴史主義における民族のモニュメントとなりました。街を見下ろす見事な建築芸術とその庭園に広がる神話、それがホルトゥス・パラティヌス (Hortus Palatinus、プファルツの庭園) で、選帝侯の最後の建築計画でしたが、完成することはありませんでした。

人工的に造られた高台と造園の片鱗は、17世紀において「世界八番目の不思議」とも称された野心的なプロジェクトの名残を今も留めています。ハイデルベルク城は今も変わらずに人々を魅力し続けています。

火薬塔 (Krauturm) は、「爆破された塔」としても知られ、かつては火薬の貯蔵に使われていました。



開館時間&ガイドツアー

城 通年開館。
内部の見学はガイドつきツアーの場合にのみ可能

宮殿庭園 日中であれば、通年無料でご入園いただけます；
ガイドツアーの有無にかかわらず見学可能

ドイツ薬事博物館 通年開館。
ガイドツアーの有無にかかわらず見学可能

ご来館前に、開館時間と閉館時間をホームページでご確認いただくか、ホットラインまでお電話ください +49 7251 74-27 70。

バリアフリー、入場割引、特別ガイドツアー、その他ご訪問に関する情報も当ウェブサイトでご覧いただけます。

最新情報



概要

最新開館時間、ガイドツアー、イベント、入場料、グルメに関する情報は、以下でご覧いただけます：
www.schloss-heidelberg.de/en/visitor-information

お問い合わせ先

ハイデルベルク城
Schlosshof 1
69117 Heidelberg, Germany
info@schloss-heidelberg.de
www.schloss-heidelberg.de/en

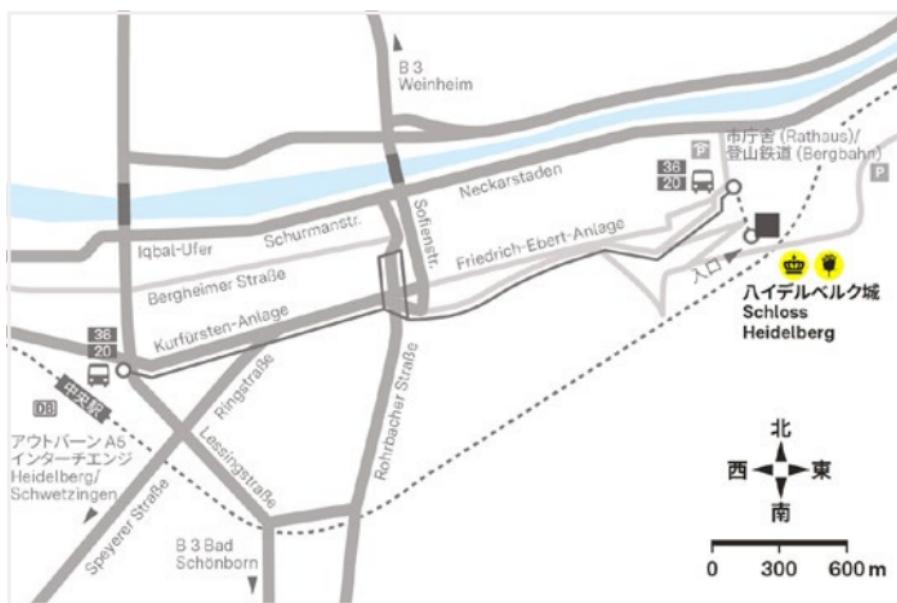
ハイデルベルク観光案内所
電話 +49 6221 53 84 72

ガイドツアーに関するご案内とお申し込み
Schlösser Touren GbRサービスセンター
電話 +49 6221 6 58 88-0
service@schloss-heidelberg.com



8

アクセス



画像クレジット SSG / LNZ : タイトル画像、1 Gunther Bayer; 2, 3, 6 Nels Schubert; 4, 7, 8 Achim Menke;
5 Mike Niederauer // 入門画像は一部がAIによって最適化されています // Designkonzept www.jungkommunikation.de

公共交通機関ご利用の場合：ハイデルベルク中央駅でバス33番または20番に乗車、停留所「ベアクバーン (Bergbahn)」で登山鉄道に乗り換え、ケーブル鉄道「シュロス (Schloss)」駅下車。



全管轄文化遺産に関する情報

バーデン=ヴュルテンベルク州州立宮殿

および庭園

Schlossraum 22a

76646 Bruchsal, Germany

ホットライン +49(0)72 51.74-27 70

毎日8:00~20:00（予約サービスはございません）

info@ssg.bwl.de

SSG_MONFLY_117_Heidelberg_J_01_25-26



www.schloesser-und-gaerten.de/en